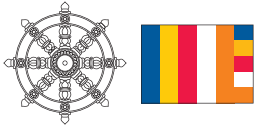


ZENBUTSU

全仏



No.
569

仏暦2554年5月
[2011年]



那須高原 殺生岩の千体地藏さま — 撮影 仏像ガール®

目次	平成23年度 第1回 理事会開催	2
	東日本大震災対策協議会	3
	各団体の東日本大震災支援活動について	4
	僧侶による被災地支援ボランティア結成のお願い	6
	救援基金募集のお知らせ	6
	各地の花まつり行事報告	8
	「手塚治虫のブッダ展」開催のお知らせ	8

第一回理事会開催

四月七日午後一時三十分より、東日本大震災に関する現況報告及び対応を協議する為の緊急理事会が東京都港区の明照会館四階会議室にて開催された。

本会寄附行為に基づき、議長は有田恵宗理事長が務めた。

まず理事会議案第一号「現行寄附行為上の評議員の変更について承認を求める件」が審議され、以下の通り全会一致で承認された。

退任 池田行信

(浄土真宗本願寺派)

就任 竹田空尊

(浄土真宗本願寺派)

続いて協議事項第一号「東日本大震災の被害の現況報告について」が協議された。

まず奈良総務部長より、震災が発生した三月十一日より今日に至るまで本会が行った取り組みと今後の予定について、資料に基づき説明が行われた。四月一日に行った「東日本大震災対策協議会」の協議内容についても報告。(三頁

参照)

次に報道関係の映像を上映。

- (1) ロイター発 被災地における読経ボランティアの映像
- (2) NBC発 東京都菅野江蘇儀所における読経ボランティアの映像
- (3) インターネットYouTube

にて配信された被災地に向け

た河野太通会長のメッセージ、続いて西野広報文化部長より、

本会ホームページ上に三月十七日より掲載を始めた「東日本大震災被災地支援情報」について、資料と映像を用いて説明が行われた。

また、今後における継続的な情報の提供依頼も同時に行われた。

垣内財務部長より、救援基金の現況報告が資料に基づき行われた。

奈良総務部長より本会加盟団体の全日本仏教青年会(全日仏青)

の宮寺理事長が紹介され、宮寺理事長より全日仏青の現地における救援及び支援活動の報告が行われた。

以上の報告ののち、議長より理事に発言を求めたところ、以下の

理事より各宗派の被災状況と救援及び支援活動の取り組みについての現況報告がなされた。

小林理事(浄土宗)、岡部理事(真言宗智山派)、松井理事(臨済宗妙心寺派)、渡邊理事(日蓮宗)、阿理事(天台宗)、竹田理事(真宗大谷派)

続いて協議事項第二号「東日本大震災の本会の対応について」が協議された。

戸松事務総長より、指定寄附金制度についての説明が行われた。

指定寄附金制度は阪神・淡路大震災時にも適用された税制上の控除

であり、公益法人である寺院の建物等の修復のために寄付金を募集した際に個人は寄附金控除の対象

となり、法人は全額が損金算入の対象となる制度である。

財団法人日本宗教連盟(日宗連)

より適用のための報告書提出の依頼があり提出を行った等、現状報告がなされた。

続いて奈良総務部長より、四月二十八日に四十九日法要を行うよう呼びかけを行う事、寺院で一斉

に鐘を鳴らすよう呼びかける等の提案を資料に基づいて行った。

垣内財務部長より救援基金への協賛依頼が行われた。また、支援先についての確認を行った。

これらの報告を受け議長より理事に意見を求めたところ、指定寄附の適用が受けられるよう推し進めてほしい旨の意見が出された。

また、救援基金の支援先については、今回に関してはニーズに応じ、加盟団体に限定せずに実際に活動している団体に直接してもよい、との意見が多数出された。

本会から提案を行った四十九日法要については、行方不明者の親族に対して最大限配慮しつつ法要の名称を決定する必要がある、との意見が出された。

以上の意見を受け、実際に支援を行う支援先の情報提供や活動に

関する情報提供の依頼が行われた。関連して中村広報文化部長より震災支援に関するメールニュース配信の取り組みに関しての説明と協力の要請が行われた。

東日本大震災対策協議会

四月一日午後一時三十分より、東日本大震災に関する情報を共有するため同協議会が開催された。

当日は主に被災地域を中心とした東日本の都道府県仏教会、全日本葬祭業協同組合連合会(全葬連)、東京都葬祭業協同組合(都葬協)、全日本仏教青年会(全日仏青)、宗教者災害支援連絡会等関連団体が協議会に参加した。

まず本会より、被災地の救援活動および復興支援に向けた各種活動の現況報告が行われた。具体的内容は次の通り。

- ・本会「救援基金」より日本赤十字社に一千万円を三月十六日に寄託

- ・「救援基金」の東日本大震災指定寄付を九月末日まで受け付けること、現状の救援基金の状況等に関して説明

- ・三月十五日に各加盟団体に被災地支援に関する情報提供を呼びかけ、寄せられた情報を集約し、全日本仏教会ホームページ及び機関誌『全仏』に掲載している

- ・本会が行った被災地支援活動への助成に関して報告

- ・救援活動やボランティア拠点確保の活動を進めている全日本仏教青年会の組織形態等に関して説明

- ・本会が企画している仏教NGO ネットワーク(BNN)が行っている復興支援募金、及びBNN加盟の団体が行っている支援に関して説明

- ・「僧侶による被災地支援ボランティア結成のお願い」を加盟団体に書面送付及びホームページ上に掲載を報告(関連六頁)

続いて被災地区の各仏教会より現況報告。特に福島県仏教会は津波、地震、原発、風評被害の四重苦にさらされている現状を報告。

青森県仏教会より当日欠席した岩手県仏教会の状況を報告。現地の仏教会のネットワークは壊滅被害を受け、ガソリンも不足して動きようがない、等の現状が報告された。他、各地域の被災状況

が報告された。

続いて災害に対する取り組みが報告された。

- ・被災地域の各仏教会では可能な範囲で読経、炊き出し、お茶の接待等のボランティア活動を各寺院、各地区仏教会等においてしている

- ・仙台仏教会にて行った読経ボランティアに関する詳細を報告。現場のマニュアル等も参考資料として配付。三月末までで百六件の読経を行った

- ・被災地の火葬場もダメージを受けている為火葬が進まず、東京都営瑞江葬儀所にご遺体を搬送し火葬する取り組みに協力した(東京都仏教連合会・江戸川仏教会)
- ・全日仏青は、被災地各地でボランティアセンターの立ち上げを行い活動拠点を作る事に現在注力している。先遣隊は、社会福祉協議会と連携し茨城県から順次北上中

- ・全葬連では県庁より要請を受けて棺等の手配を行った。今後支援を続ける。現地入りしての現状視察等に関して報告

- ・被災者受け入れに関して、宗教

者災害支援連絡会が三月三十一日に立ち上がった事が葺輪顕量

東京大学教授より報告。今後ホームページやSNSを通じ、受け入れを行う宗教施設を繋ぐ役割を担っていく

<http://www.indranet.jp/syuenren/>

また、支援活動を行う際に直面した問題点として、

- ・支援を行って行政から「救援物資と義捐金は欲しいが祈り(宗教行為)はいらぬ」というはっきりとした拒絶を感じる場合があること

- ・国や市町村も指示や方針が不統一でまったく連携ができておらず、非常に混乱がある

- ・政教分離の原則に基づき、行政より身元不明者のご遺体へ読経を拒否された等、現地で直面した問題について報告がなされた

これら協議内容を受け、本会より今後の活動に対する提案を行い閉会となった。(関連二頁)

今後本会では各加盟団体・関連団体と連携の上様々な方策を通じて被災地支援を継続していく。

各団体の東日本大震災支援活動について

東日本大震災支援活動として現地では加盟団体・ご寺院等が様々な支援活動を行っておりますが、その活動の一部を掲載させて頂きます。詳細につきましては全日本仏教会ホームページをご覧ください。
http://www.jbfn.jp

被災地域の仏教会の取り組み

- 福島県仏教会 (三月二十六日現在)
福島県内において身元不明者への読経ボランティア活動を行っている。
 - 相馬市仏教会
災害当初より遺体安置所に常駐し、遺体が火葬に出る前、枕経をあげる。
 - 福島市仏教会
 - 郡山市仏教会
 - 二本松和合会
二十五日より火葬読経
 - 会津若松市仏教会
二十六日より火葬読経
- また、読経ボランティア・炊き出し・行茶活動等を各地区仏教会に依頼。
- (社)仙台仏教会 (四月十二日現在)

身元不明者への火葬読経ボランティアを行っている。

また、宮城県宗教学者連絡協議会と連携の上、「宗教何でも相談所」心のケア相談室」を開設、心のケアに尽力。避難所となっている寺院及び被災寺院に支援活動を行っている。

● 岩手県曹洞宗青年会

(四月十二日現在)

地元の社会福祉協議会と連携の上、各避難所にて被災者支援活動中。読経ボランティア活動も行っている。

● 盛岡市仏教会 (四月十二日現在)

岩手県曹洞宗青年会と連携の上、避難所寺院・被災寺院に支援活動を行っている。

炊き出し・ボランティア等の取り組みについて

● 長野県仏教会 (四月十六日現在)

上伊那仏教会青年部が三月二十一日(二十五日、宮城県石巻市門脇中学校にて合計一万二千五百食の炊き出し及び配食を実施。

上伊那郡内の救援物資輸送(マイクロボス三台分)と三トンの給水活動の実施。その他、現地にてガレキ撤去活動を行った。

● 全日本仏教青年会(四月十二日現在)

各被災地で社会福祉協議会と連携しボランティアセンターの立ち上げを行い、ボランティアの活動拠点を作成している。

各地で炊き出し・がれきの撤去・災害にて発生したゴミの運搬を行っている。避難所等にて行茶活動を行っている。

また、被災地寺院に対して臨時託児所として場所を貸して頂けるよう、青森県仏教会・岩手県仏教会・福島県仏教会・茨城県仏教会・(社)仙台仏教会へ本会を通じて要請を行った。

● 高野山真言宗 (四月十一日現在)

大崎市に基地を設置、宮城・岩手方面への支援活動継続中。十二日・十三日、台湾からの義捐飯二十八トン、十二万食を石巻市・遠野市に支援

● 真宗大谷派 (四月七日現在)

各地で災害ボランティアが様々な活動を展開している。
○三条教区・高岡教区他
仏教青年会が中心となり、救援物資

を集め、仙台教務所へ届けている。また、新潟県長岡市内の避難所での炊き出しなどを行っている。

○ 仙台教区

仏教青年会が中心となり、ボランティアを希望する教区内寺院へ内容を確認し、班を編成し支援を行っていく予定。また、ドラム缶などを携えて、お風呂に入っていただけのような計画中心。
○ 京都教区

「教区救援ネットワーク」が中心となり、真宗本廟での救援金の募金活動をはじめるとともに、宗務所や参拝接待所での救援物資の受付業務を行っている。
○ 山陽教区

仏教青年会が姫路駅で募金活動と被災者への応援メッセージの募集を行っている。応援メッセージは、大きな白布に多くの人たちからメッセージを書いてもらい、被災地域に届けられる予定。

また、災害物資を京都東本願寺で受付中。全国から多数の物資が寄せられており、随時被災地へ搬送している。

● 浄土真宗本願寺派 (四月八日現在)

三月十七日に東北教区災害ボランティアセンターを設置して以降、延べ六百名を越えるボランティアの方々による奉仕活動が行われている。(活動報

告については本願寺派のホームページを参照)

<http://www.hongwanji.or.jp/>

本願寺派東北教区災害ボランティアセンター設置後、本願寺派の僧侶・門信徒による有志団体「西本願寺震災支援ネット」が立ち上がり、北海道教区のみならず、東京・新潟・富山・東海・奈良・大阪・安芸など、各教区の僧侶が次々と自らの意志で仙台に赴き、同センターを拠点に被災者の支援（炊き出しや読経ボランティア、被災寺院の復興）などさまざまな活動を行っている。

本願寺派の僧侶・門信徒の有志で発足した「西本願寺震災ネットワーク」は、宗派・他派・民間NGOなども連携しながら、全国的な被災者支援のネットワークづくりを目指している。

●曹洞宗（四月八日現在）

三月十六日から二十二日まで、曹洞宗災害対策本部員の神野財政部長がシヤンティ国際ボランティア会(SVA)職員二名に同行し、被災地に入り情報収集を行った。

●臨済宗妙心寺派（四月四日現在）

現地のニーズに合ったボランティア活動をを行うために、妙心寺派寺院の寺院、ならびに檀信徒を対象とした災害

ボランティア登録制度を開始した。被災地の災害対策本部と連携し、現地でのニーズを本山が集約し、ボランティア登録をした方へ、適切な活動アドバイスを行っている。

●浄土宗（三月三十日現在）

三月十九日、二十日、第一陣、第二陣に分けて、福島教区・宮城教区・岩手教区災害対策本部、宮城県石巻周辺の避難所へ災害救援物資（携帯用カイロ・飲料水・毛布・日用品・食料品・薬）などを搬送、現地状況を視察。

寺院等の被災者受け入れ等の取り組みについて

●真宗大谷派（四月七日現在）

宗派諸施設及び別院・寺院教会において被災者を受け入れている。詳細はホームページ等より確認を

<http://www.higashihongwanji.or.jp>

[/info/news/detail.php?id=241](http://info/news/detail.php?id=241)

●真言宗豊山派（四月五日現在）

総本山長谷寺では真言宗豊山派災害対策室の要請を受け、福島第一原子力発電所三十キロ圏内に位置する寺院、寺族家族を長谷寺境内建物において受け入れ。

●臨済宗妙心寺派（四月四日現在）

住宅支援（避難者の受け入れ）について登録制度を設け、現地の災害対策本部と連携し避難者の受け入れをバックアップしている。登録はホームページ及びFAXにて可能。

<http://www.nyoshinji.or.jp/>

●孝道教団（三月三十日現在）

「シェア（国際保健協力市民の会）」の支援として、孝道教団東北別院（山形市小白川町）を、物資の資材置き場と宿泊所に提供している。

●真言宗善通寺派（三月二十三日現在）

善通寺市役所と連携の上、被災者の方を対象に宿坊を提供中。申込み等に関しては本会ホームページを参照。

法要等の取り組み

●高野山真言宗

四月十一日午後二時四十六分から、高野山金堂、高野山東京別院にて「東日本大震災物故者追悼・復興祈願法会」を厳修

●聖観音宗

四月二十八日午後二時より、浅草寺本堂において慰霊法要を厳修。

午後二時四十六分に梵鐘を鳴らす。

●天台宗

総本山延暦寺阿弥陀堂において、慰霊回向法要を三月二十九日に勤修。また、四月二十八日に総本山延暦寺において慰霊回向法要を勤修する。

●真言宗豊山派

三月十七日午前九時三十分から、総本山長谷寺観音堂において「東日本大震災被災者諸精霊追善法要」を厳修。

●曹洞宗

四月八日、宗務庁五階研修道場において、東日本大震災被災物故者追悼法要を佐々木宗務総長導師のもと厳修。宗務庁役員、檀信徒会館職員ほか関係者が参列。

●念法真教

三月十五日、総本山金剛寺に於いて東日本大震災慰霊法要を勤修。

訂正

前号（五六八号）五頁、「各加盟団体の被災地支援状況について」に関して、浄土宗及び全国浄土宗青年会の活動内容に関して一部誤りがありました。

最新情報及び正しい情報に関しては本会ホームページにて掲載させて頂いております。関係各位に心よりお詫び申し上げます。

本会からのお願い

僧侶による被災地支援 ボランティア結成のお願い

この度の大地震と大津波の犠牲

になられた多数のご遺体の身元の確認がとれない状態が続いております。ご遺体の衛生面への配慮もあり、各地方自治体の判断で火葬或いは土葬という対処がでてきております。ご遺族をはじめ、各地方自治体も苦渋の決断を迫られております。

地震の直前まで日常の生活をされていた家族が、突然の地震によって離ればなれを余儀なくされ、さらには津波に飲み込まれ、死の直前にどのような思いを巡らしてお亡くなりになられたのか。身元不明の方々が誰にも看取られることなく茶毘に付されてゆくのは、あまりにも悲しいことではないでしょうか。

全日本仏教会は三月二十三日に各地域での葬儀の「ならわし」を尊重いたしたく、被災された地域と近隣地域の僧侶に対して、読経ボランティアの組織結成をお願い

いたしました。

まずは、地域の「ならわし」を共有される僧侶が集まり、次に他県のボランティア僧侶に「ならわし」を伝え、さらには一日も早く故人の宗旨で葬儀ができるようになることを強く支援してまいります。

また、読経ボランティアだけでなく被災された寺院のお堂の片づけや、飾り付けは僧侶でなければできません。被災地の僧侶達はお檀家さんのお申いや近隣住民の方々への支援などで、お寺のことは後回しになっております。寺院の住職や副住職が一日も早く、いつもどおりの法要ができるように修繕することも大事なボランティア活動だと思いますので、被災地以外の僧侶の方々も是非ご一考下さい。

ご覧頂いている皆様のご理解を戴けたら幸いです。

合 掌

東日本大震災に関する 救援基金募集のお知らせ

本会では国内外における災害救援や人道的支援等に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しております。今回の大災害に対しても、三月十六日に一千万円を日本赤十字社に寄託しました。

今後、現地の被災者に最も役立つ方法を地域仏教会、仏教系NGO団体等と協力しつつ、被災者支援を継続して行っていく予定です。

(関連二―五頁)

つきましては今回の大災害に対し、加盟団体、各寺院、檀信徒、門信徒のみならず、そして宗派・宗教を超えて、みなさまの温かい浄財をお寄せ頂ければ幸いです。

尚、救援金は左記口座までお寄せ頂きますようお願い申しあげます。

※指定寄付の場合は「東日本大震災」と振替票にご記入ください。

合 掌

記

郵便振替口座

口座番号

00110191704834

口座名義 全日本仏教会救援基金

表紙写真紹介

「那須高原

殺生岩の千体地藏さま」

栃木県の那須高原にある「殺生石」にいったときのこと。温泉が湧き出るその場所には「賽の河原」があり、千体ものお地藏さまがずらりと並んでいらつしやいました。それぞれに愛らしいピンクや赤、オレンジの帽子をかぶって。

お地藏さまの前に座って手を合わせていると、いろんなお地藏さまがいらつしやることに気がつきました。おおらかに笑うお地藏さま、少し気が弱そうなお地藏さま、ピリッと厳しそうなお地藏さま。右を向いていたお地藏さまもいれば、小高い場所に立つお地藏さまもいらつしやいます。

そんなお地藏さまを眺めていたら、「こんなにたくさんお地藏さまがいたら、私のことも救ってもらえそうだなあ」と思えました。「千」という数字は仏教でも大切な数字で、「無限」を意味するのだと、以前お坊さんに聞いたことがあります。ずらりと並ぶたくさんのお地藏さまは、どんな人にも「心配ないよ」と声をかけてくださっているように見えました。

仏像ガール®

事務総局録事

三月（十六日～三十一日）

十六日▼国際仏教興隆協会理事会

出席（増上寺）

▼文化庁宗務課との意見交換会開催（本会議室）

▼朝日ビジネスソリューション

ヨシ木村氏来局

十七日▼東映株来局

二十四日▼横浜地検吉村検事来局

▼狭山事件の再審を求め
る市民集会参加（東京・
星陵会館）

▼朝日ビジネスソリュエー
ション木村氏来局

二十五日▼花まつり推進のため河
野会長と面談・協議（妙
心寺）

局内会議

▼公益法人電子申請

▼無料法律相談室

二十八日▼疋田副会長来局

▼東京新聞篠ヶ瀬氏来局

二十九日▼ルンビニホテル笠井氏
来局

来局

三十日▼「鎮魂と慈悲 ブッダの
素顔展」プレス発表及び

参拝（理事長・事務総長）

内覧会出席（ザ・プリン
スパークタワー東京・東
京タワーフットタウン三
階タワーギャラリー）

三十一日▼日本宗教連盟幹事会、
理事会・参議会出席

局内会議

四月（一日～十日）

一日▼東日本大震災対策協議会

▼東京都営瑞江葬儀所におけ
る被災者回向に東京都仏教
連合会、江戸川区仏教会と
ともに参加（四月七日まで）

五日▼文化庁宗務課長来局

局内会議

七日▼第一回理事会

八日▼アエラ藤生記者来局

▼仏教伝道協会古澤氏・新野
氏来局

▼岩手県陸前高田市の不明遺
体が千葉で火葬される際の
回向に千葉市仏教会と立ち
会い及び回向に参加（千葉
市緑区千葉市斎場）

九日▼浄土真宗本願寺派「親鸞聖
人七百五十回大遠忌法要」
参拝（理事長・事務総長）

市緑区千葉市斎場）

九日▼浄土真宗本願寺派「親鸞聖
人七百五十回大遠忌法要」
参拝（理事長・事務総長）

参拝（理事長・事務総長）

「救援基金」寄付者名

（三月二十二日～四月十五日）

正泉寺

大藏寺

太福寺 佐久間大道

真宗木辺派 法瑠寺

全日本宗教用具協同組合

財団法人 埼玉県佛教会

社団法人 在家仏教協会

高野山 大圓院会

山梨県仏教会

五戒を守る僧侶の会

大阪府柏原市仏教会

臨川寺

テイケイヘンデルアート

鳥取県仏教連合会

Hakin-Zen-Gemeinschaft Deutschland

時宗宗務所

長野県仏教会

社団法人 徳島県仏教会

宮崎県仏教連合会

大林寺 新倉善秀

日本テンプルヴァン株式会社

石井町仏教会

西山浄土宗

総本山 光明寺

天性寺

社団法人 全日本仏教婦人連盟

萬福寺

東京都仏教連合会

真言宗中山寺派 大本山 中山寺
信州 善光寺
真光寺

九州西国霊場会

長野県飯伊仏教会

曹洞宗 信松院 檀信徒会

清水寺 清水宗諦

長野県佐久仏教会

永津貴大

東京都仏教連合会 理事長 山田一眞

東京都仏教連合会 事務局長 新倉典生

金藏院 眞田有快

法華宗真門流

水月寺 志賀宏二

朝倉寺

足立区寺院共済会 会長 望月信興

小樽市 龍徳寺

静岡県 川根仏教会

浅草寺

大安寺

妙国寺

多宝寺

玉林寺 長谷琢堂

大阪市此花区仏教会

（財）全日本仏教会会長 龍門寺 河野太通

新照寺 渡辺章悟

妙義教会

妙定院 小林正道

日本仏教鑽抑会

寶蓮寺

神奈川県仏教会

（順不同・敬称略）

合計 一千二百九十三万千八百円

ご支援誠にありがとうございました。

各地の花まつり写真集

— お釈迦様の誕生日をお祝いし、各地で花まつり行事が開催されました —



「おしゃかさまを 讃える夕べ」

4月8日京都全日空ホテルにて開催。約350名が参集し、花まつり慶讃法楽・灌仏式・記念講演「地下足袋の詩」一歩く生活相談室32年一が行われた。

(主催 京都仏教会)



「花まつりフェスティバル・ イン・サンシャイン」

4月5日、東京池袋のサンシャインシティ噴水広場で開催。法楽に加え稚児行列、募金活動、アトラクションのフルーツ四重奏等が行われ、「花の種」が参加者に配布された。

(主催 豊島区仏教会・
全日本仏教婦人連盟)



「花まつり」

4月9日、京都市中京区新京極通六角広場にて開催。園児行列、震災の殉難者追悼法要が営まれた。来場者に灌仏を呼びかけた他、義援金の募金活動を行った。

(主催 京都府仏教連合会)

本会協力『手塚治虫のブッダ展』東京国立博物館にて開催 仏像と漫画、トーハクでまさかの共演！

手塚治虫氏の漫画『ブッダ』の原画と本物の仏像が、東京国立博物館にて展示されます。展覧会史上初の試みとなりますので、どうぞお見逃しなく参加下さい。

開館時間：4月26日(火)～4月30日(土) 10：00～16：00
5月1日(日)～6月26日(日) 9：30～17：00
(5月より、土・日曜日、祝日は18：00まで)

開催会場：東京国立博物館 本館特別5室 (上野公園)

主催：東京国立博物館、東映、TBS

後援：読売新聞社

協力：手塚プロダクション、日本通運、(財)全日本仏教会、ニトリ

観覧料金：一般800円、大学生600円、高校生400円

前売り券・団体等割引有り

展示品数：約70点

詳細は下記公式ホームページ及びお電話にてお問い合わせ下さいませ。

03-5777-8600 <http://www.budda-tezuka.com/>

